

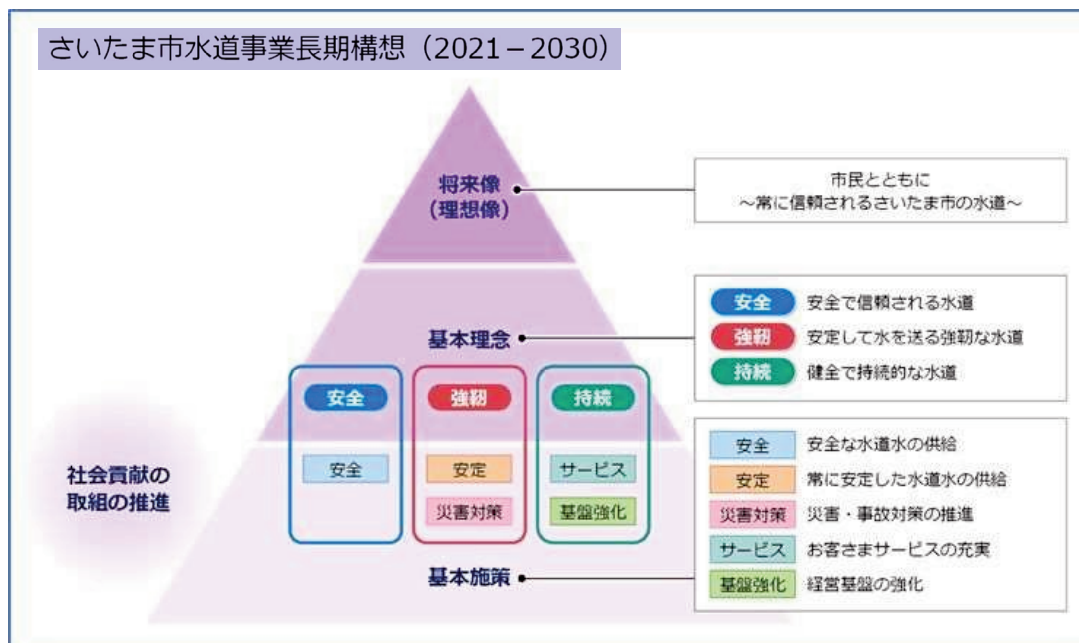
# 水道局 令和4年度 局運営方針

## 1. 主な現状と課題

現在、本市の人口は増加傾向にありますが、将来的には減少に転じ、あわせて給水人口や給水収益も減少していくと推測されます。

一方で、浄水場、配水場や管路の老朽化が進み、その更新需要は更に増加していく見込みです。また、災害時においても安定した給水を行うため、耐震化対策を推進する必要性があり、これらを計画的に進めていくことが課題となっています。

水道局では、このような環境の変化や重要な課題に対応するため、令和3年3月に策定した「さいたま市水道事業長期構想（2021－2030）」に基づき、財政とバランスの取れた施設整備を行うなど、効率的かつ効果的な事業運営を推進する必要があります。

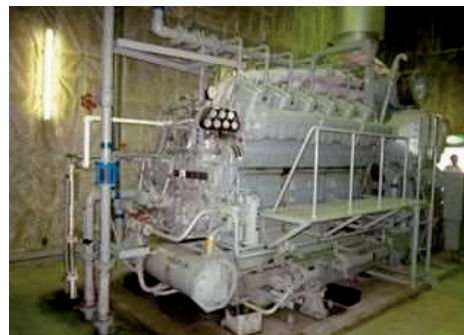


### (1) 水道施設の再構築の推進

安全・安心な水道水を安定して供給していくため、将来の水需要の減少を踏まえた、水道施設の効率的な配置や適切な施設能力・規模への計画的な改良・更新を進めるとともに、地震等の災害に対しても信頼性の高い強靱な水道施設の再構築を推進する必要があります。



老朽管更新工事



自家発電設備

## 2. 基本方針・区分別主要事業

財政とバランスの取れた水道施設の計画的な改良・更新を進め、安全で強靱かつ持続的な水道の構築を目指します。

(1) 水道施設の改良更新、耐震化等の整備を計画的に進めます。

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和4年度	令和3年度	説明	概要掲載ページ
1	総振	水道施設整備事業 〔水道計画課〕	12,404,296	11,356,186	水道水の安定供給を図るため施設整備を推進	613

(2) DXによる行政手続のデジタル化を推進します。

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和4年度	令和3年度	説明	概要掲載ページ
2	新規	営業事務事業 〔営業課〕	85,461	0	Web口座振替受付サービス及び水道窓口クラウドサービスを実施するとともに、水道メーター検針におけるリモートネットワークの導入に向けた準備を開始	612 613

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画実施計画事業